

第14・15回 専門職育成・国際交流セミナー募集要項

日韓 こころの 交流 プログラム 2026-2027

2年間の
プログラム

2026年：日本・関西

2027年：韓国・済州島

“South Korea-Japan
Exchange of Hearts”
Program

日程

2026年度：2026年10月20日(火)～25日(日) (5泊6日) 日本開催(大阪・京都・兵庫)
2027年度：2027年10月ごろ (5泊6日) 韓国開催(済州島)

対象

福祉現場で働く若手ソーシャルワーカーと
社会福祉を学ぶ大学院生(原則40歳以下)

*2026年・2027年の両方に参加できることが応募の条件となります。

応募締切

2026年7月10日(金)
必着

日韓こころの交流プログラムについて

～福祉人材の育成と国際交流～

少子高齢化が進む日本と韓国は、高齢者福祉の充実や、子どもに対する施策、労働力確保の問題など、多くの共通する課題に直面しています。少子高齢・人口減少社会における福祉向上をめざすユニバーサル財団は、2003年から日本と韓国の官民学の福祉関係者による国際学术交流を毎年重ねてきました。2008年からは、将来の社会を担う福祉従事者の専門性の向上と若手リーダーの育成のため、「専門職育成・国際交流セミナー」を開始し、本年、第14回目を迎えます。

本セミナーは2年継続型のプログラムで、日韓両国にて若手ソーシャルワーカーや大学院生を公募し、6日間のセミナーを2年にわたり開催します。プログラムの中心となる「視察」では、高齢・児童・障害などの各分野で先進的な取り組みを行なっている施設を訪れ、現場の実践を直接学びます。「総括」の時間には互いの気づきを共有し、福祉の専門家によるスーパーバイズを受けます。プログラムを通して、福祉に対する視野を広げ、新しい実践の一步を踏み出す機会となることを企図しています。

福祉の現場で働く若手ソーシャルワーカーや社会福祉を学ぶ大学院生の皆さまからの積極的なご応募をお待ちしております。

プログラムの目的

1

少子高齢化という共通する課題を持つ日韓両国の社会福祉実践を見聞し、**互いの専門的知識や技術の交換・相互発展を図る**

2

両国の福祉を学ぶ大学院生や、専門職との出会いを通じて、**福祉分野における日韓交流を促進する**

2026-27年度テーマ

「多様な家族のためのソーシャルワーク実践」

「家族」の概念を広く捉え、文化的背景の異なる移民家庭、高齢者や若者の単独世帯、ひとり親家庭、同性カップル、血縁関係のない者同士の同居など、多様な形態の「家族」に対する支援について考えます。



プログラム・アドバイザーからの推薦メッセージ

日本側アドバイザー



Yasuhiro
Kuroki

黒木 保博 先生

(同志社大学 名誉教授、長野大学 社会福祉学部 教授)

とても魅力的で、ユニークな交流プログラムです。参加者は、2年に渡って日韓の福祉機関・施設・団体を相互に訪問します。

お互いに体験を共有する中で、「聴く」ことの重要性を知り、お互いが何を大切にしているかを「感じて」、「気づき」ます。相互理解と信頼関係による「きずな」が日韓の未来を創る行動に「つながって」いきます。

韓国側アドバイザー



Noh Helen

ノ・ヘリョン 先生

(崇實大大学校社会福祉学部 名誉教授)

韓国と日本で、毎年交互に開かれてきたこの交流の場は、両国の福祉専門家や研究者、そして次代を担う社会福祉人材が共に学び、成長する貴重な機会となってきました。

専門的な見識を広げることはもちろん、お互いのまごころを分かち合う交流の経験は、皆さんに大きな感動と大切な財産を与えてくれるでしょう。

主催

公益財団法人ユニバーサル財団

後援(申請中)

一般社団法人日本ケアマネジメント学会

一般社団法人日本社会福祉学会

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

公益社団法人日本社会福祉士会

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会



参加者の声

奮闘するソーシャルワーカーの姿に勇気をもらおう

前田 実結 さん [2019年度セミナー参加]

横浜市南福祉保健センター (参加当時)

多様化し、一筋縄では解決できない課題に直面しながらも、どのような支援をすべきか考えている韓国のソーシャルワーカーさんたちと出会って、国や文化の違いはあっても、ソーシャルワーカーが目指す人々の生活をより良いものにするための働きかけは変わらないと感じ、強い刺激を受けました。また、経験年数も様々な参加者同士で意見を交わし、それぞれの課題や悩みを話し合う中で、多くの経験を積んだソーシャルワーカーであっても悩むことがあると知り、それを互いに共有していくことは意義のあることだと感じました。今後もこの繋がりを生かして仕事をしていきたいです。

Miyu Maeda



福祉の仲間・友人としてのこころの交流

ソ・ビョンオクさん [2024-25年度セミナー参加]

北水原障害者昼間保護施設 (デイセンター) 社会福祉士 (参加当時)




さまざまな施設を視察し、学ぶことで、新しい視点で物事を見ることができるようになりました。日本の参加者と資料を共有して、日韓の障害者の自立支援施設の運営や政策の違いを学び、また、訪れた施設をモデルに、現在の勤務先で自分が何をすべきかを考えることもできました。参加1年目は日韓の参加者同士の関係性を作っていく時間でしたが、2年目は真のこころの交流の時間でした。それぞれの現場の話を深く共有し、個人的な話題を通してお互いを知って、社会福祉の仲間であり友人としての関係を築くことができました。

So Byungok






参考スケジュール

2026年度（日本・関西）

10月20日(火)	集合、オリエンテーション	
京都 21日(水)	視察（インクルーシブな地域福祉の拠点施設、まちづくりフィールドワーク等）	
大阪 22日(木)	視察（中間支援NPO、特別養護老人ホーム等） 中間総括	
兵庫 23日(金)	視察（社会福祉協議会、児童養護施設等） 自由時間	
24日(土)	最終総括 報告会・懇親会	
25日(日)	解散	

2027年度（韓国・済州島）

10月頃 火曜日	集合、オリエンテーション	
水曜日	視察（社会福祉士協会、障害者就労支援施設等）	
木曜日	視察（総合社会福祉館、多文化家族支援施設、文化体験等） 中間総括	
金曜日	視察（文化歴史施設等） 自由時間	
土曜日	最終総括 報告会・懇親会	
日曜日	解散	

*プログラムの内容(スケジュール)は変更になる場合があります。
*報告会では、セミナーで学んだことを発表していただきます。

第14・15回 専門職育成・国際交流セミナー 募集要項

募集人員

日本側 5名

*別途韓国で選考された韓国側参加者5名が加わります。通訳がつきますのでハングルの能力は問いません。

日程・開催地

2026年度 2026年10月20日(火)～25日(日)〈5泊6日〉日本開催(大阪・京都・兵庫)

2027年度 2027年10月ごろ〈5泊6日〉韓国開催(濟州島) *変更になる場合があります。

対象

福祉現場で働く若手ソーシャルワーカーと社会福祉を学ぶ大学院生(原則40歳以下)

*2026年・2027年の両方に参加できることが応募の条件となります。

参加費

無料

宿泊先

2026年度は大阪市内のホテル

申し込み

参加を希望する方は、次のものをユニベール財団宛に郵送してください。

(1) 所定の「参加申込書」 ※当財団ホームページ(www.univers.or.jp)からダウンロードしていただけます。

(2) 次の①および②のテーマについて、それぞれ800字程度の作文(作文計2種:各800字程度)。

①応募動機とセミナーに対する抱負

②2026-27年度のプログラムテーマ「多様な家族のためのソーシャルワーク実践」に関する自身の経験と、実践において重要だと思うこと(実践経験がない場合、後者を中心に作成)

締め切り

2026年7月10日(金) 必着

選考結果

8月10日(月)までに文書によって通知します。

*提出いただいた申込書類は返却いたしませんのでご了承ください。

*採否の理由等、選考に関わる内容についてはお答えしかねますのでご了承ください。

備考

●セミナー期間中の保険料・宿泊費・食事代・交通費はユニベール財団がお支払いします。

旅行傷害保険に加入していただけます。

●次のものは個人負担していただけます。

(1) 日本国内の移動にかかる費用

2026年度は自宅ー大阪市内間の往復交通費、2027年度は自宅ー日本国内の国際空港までの往復交通費(韓国までの国際航空運賃はユニベール財団がお支払いします。)

(2) 自由行動にかかる費用(食事代・交通費を含む)

(3) パスポートの取得等の手数料

(4) その他現地での小遣い等

●セミナー参加に際して特別な配慮を要する場合は、選考後に費用等、参加に向けての協議をさせていただきます。

●事前オリエンテーションを9月にオンラインで行います。詳細は参加決定者にお知らせします。

●セミナー終了後に報告書(レポート)を提出していただけます。

●個人情報の取扱いについて

参加申込書にご記入いただいた内容は、当セミナー選考委員による選考、当財団からご本人および施設長・指導教員への連絡以外には使用しません。

また、参加決定者については「本人氏名・施設名・部署・役職(または学校名・研究科・年次)」「施設長氏名(または指導教員氏名)」を講師・スタッフ・参加者等のセミナー関係者に公表します。予めご了承ください。

[お申込み・お問合せ先]

公益財団法人ユニベール財団

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階

電話:03(3350)9002 Fax:03(3350)9008

e-mail: info@univers.or.jp www.univers.or.jp